

北陸電力株式会社 志賀原子力発電所  
令和2年度(第2四半期)  
原子力規制検査報告書

令和2年11月  
原子力規制委員会

## 目次

1. 実施概要 .....	1
2. 指摘事項概要一覧 .....	1
3. 運転等の状況 .....	1
4. 検査内容 .....	1
5. 検査結果 .....	4
6. 確認資料 .....	7

## 1. 実施概要

(1)事業者名:北陸電力株式会社

(2)事業所名:志賀原子力発電所

(3)検査実施期間:令和2年7月1日～令和2年9月30日

(4)検査実施者:志賀原子力規制事務所

野中 則彦

中野 重友

城内 忠

宮田 勝仁

原子力規制部検査グループ専門検査部門

小坂 淳彦

村尾 周仁

澤田 敦夫

田中 孝行

伊方原子力規制事務所

新田 博美

## 2. 指摘事項概要一覧

指摘事項なし

## 3. 運転等の状況

号機	出力 (万kW)	検査期間中の運転、停止、廃止措置及び建設の状況
1号機	54.0	停止中
2号機	120.6	停止中

## 4. 検査内容

検査は、検査対象に対して適切な検査運用ガイド(以下単に「ガイド」という。)を使用して実施した。検査対象については、原子力検査官が事前に入手した現状の施設の運用や保安に関する事項、安全活動の状況、リスク情報等を踏まえて選定し、検査を行った。検査においては、事業者の実際の安全活動、社内基準、記録類の確認、関係者への聞き取り等により活動状況を確認した。ガイドは、原子力規制委員会ホームページに掲載されている。

第2四半期は、以下のとおり検査を実施した。

### 4.1 日常検査

(1)ガイド BM0060 保全の有効性評価

検査項目 保全の有効性評価

検査対象

- 1) 1号機 非常用ディーゼル発電設備(A)における潤滑油管理

(2)ガイド BM0100 設計管理

検査項目 設計管理の適切性

検査対象

- 1) 1・2号機 復水貯蔵タンクトレンチ出入口扉のハンドル改造に係る設計検討

(3)ガイド BM0120 作業管理

検査項目 作業管理

検査対象

- 1) 1号機 非常用ディーゼル発電設備(A)発電機軸受潤滑油系配管用プレートオリフィス取付方向修正工事
- 2) 2号機 原子炉補機冷却水取水路排砂作業における角落とし設置作業
- 3) 2号機 非常用ガス処理系性能試験の実施状況

(4)ガイド BO0010 サーベイランス試験

検査項目 標準的な検査

検査対象

- 1) 2号機 非常用ガス処理系手動起動試験
- 2) 1号機 中央制御室換気空調系隔離運転及び外気取入運転試験

(5)ガイド BO1020 設備の系統構成

検査項目 標準的系統構成

検査対象

- 1) 2号機 非常用ガス処理系手動起動試験に係る系統構成
- 2) 2号機 循環水ポンプモーター乾燥保管に係る系統構成

(6)ガイド BO1040 動作可能性判断及び機能性評価

検査項目 動作可能性判断及び機能性評価

検査対象

- 1) 2号機 排気筒モニタ警報発報における点検実施状況
- 2) 1号機 パワーセンタ1C遮断器機能試験
- 3) 1号機 非常用ディーゼル発電設備(A)潤滑油系オリフィスの取付方向の相違に対する評価
- 4) 2号機 非常用ディーゼル発電設備(C)燃料移送ポンプ振動測定による評価
- 5) 2号機 原子炉補機冷却海水系オリフィス点検に係る原子炉補機冷却海水ポンプ

の機能性評価

6) 1号機 HPDS ディーゼル発電機の定例試験

(7) ガイド BE0020 火災防護

検査項目 四半期検査

検査対象

- 1) 1号機 補助ボイラー室の二酸化炭素消火設備法令点検の実施状況

(8) ガイド BE0040 緊急時対応組織の維持

検査項目 緊急時対応組織の維持

検査対象

- 1) 全交流電源喪失時の非常送水手順等教育訓練の実施状況
- 2) 事故故障等対応訓練の実施状況
- 3) 運転員、連絡当番の夜間勤務状況

(9) ガイド BR0010 放射線被ばく管理

検査項目 放射線被ばくの管理

検査対象

- 1) 2号機 廃棄物処理建屋地下3階HCW収集ポンプ室における管理区域内区域区分変更の実施状況
- 2) 2号機 放射線透過試験作業における放射線作業計画
- 3) 2号機 復水貯蔵タンクトレンチ管理区域出入口管理の実施状況
- 4) 固体廃棄物貯蔵庫におけるドラム缶点検に係る被ばく管理

(10) ガイド BR0070 放射性固体廃棄物等の管理

検査項目 放射性固体廃棄物等の管理

検査対象

- 1) 保安規定第86条に係る固体廃棄物貯蔵庫巡視点検
- 2) 工業用内視鏡による固体廃棄物貯蔵庫ドラム缶外観点検

4.2 チーム検査

(1) ガイド BQ0010 品質マネジメントシステムの運用

検査項目 年次検査

検査対象

- 1) 改善措置活動の実効性、他施設における運転経験及び知見の活用、マネジメントレビュー等の自己評価及び監査、安全文化の育成と維持に関する活動

## 5. 検査結果

### 5.1 指摘事項の詳細

指摘事項なし

### 5.2 未決事項

なし

### 5.3 検査継続案件

なし

### 5.4 品質マネジメントシステムの運用年次検査結果

改善措置活動の実効性	<p>(1)問題の特定</p> <p>不適合事象等は「不適合管理・是正処置・未然防止処置要則」等に基づき、2019年10月15日からコンディションレポートを作成し、速やかに社内関係部署に連絡しており、2020年4月1日から6月30日までに932件の報告が行われている。また、上述の要則等に基づき、当該事象が不適合事象等に該当するか否かを仮判断する会議(プレCAP会議)で審議された上で、最終的に不適合等の該当又は非該当を判断する会議(CAP会議)で審議されている。</p> <p>しかし、検査期間中に陪席した両会議において、発見事象の共有化は図られているものの、問題の特定及び重要度分類の審議において、状況の把握に必要な写真や技術的根拠となる図面類等の共有情報が不足していたため、技術的な議論が適切であるのかどうかの気づきがあったが、事業者は技術的な議論の充実を図っていくこととしている。</p> <p>(2)問題の重要度分類及び評価</p> <p>不適合事象等は「不適合管理・是正処置・未然防止処置要則」等に基づき、プレCAP会議及びCAP会議において「不適合の判断」及び「品質に影響を及ぼす状態(CAQ)又は品質に影響を及ぼさない状態(Non-CAQ)」の区分及びそれぞれの管理区分を判別しており、重要度に応じて、是正処置や根本的な原因分析の要否の判断を行っていることを確認した。</p> <p>(3)是正処置</p> <p>CAQ(品質に影響を及ぼす状態)管理区分A～Cの不適合について「不適合管理・是正処置・未然防止処置要則」等に基づき、原因の特定、再発防止処置の実施の要否判断及び必要な処置の検討を行って</p>
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>た。上述の管理区分の必要に応じて、担当部門長により根本的な原因分析、人的過誤の分析が行われた後、是正処置管理票が作成され、安全・品質保証室による内容の妥当性確認を受けた後、処置が実施されていることを確認した。</p> <p>このうち、2019年8月20日に発生したドライウェルベント用出口隔離弁バイパス弁のリミットスイッチの取付板の変形と2020年1月24日に発生した逃がし安全弁のリミットスイッチへの接触の両事象の是正処置について確認したところ、いずれもリミットスイッチへの接触等に関する事象であるがそれぞれ個別に再発防止処置が行われていたため、繰り返し事象や類似の事象の取り扱いについて確認したところ、事業者は現時点ではこのような類似事象の抽出及び調査は不足していることから、今後、共通要因事象に対する分析の検討を進めていくこととしていることを確認した。</p>
<p>他施設における運転経験及び知見の活用</p>	<p>国内外の他の原子力施設及び他産業の事故・故障又はトラブル情報について「志賀原子力発電所 トラブル情報検討要領」等に基づき、週1回程度の定期に情報が入手され、是正処置・未然防止処置検討会等において、スクリーニングが行われ、対策の実施及びレビューが行われていることを確認した。</p> <p>そのうち、中国電力株式会社島根原子力発電所第2号機中央制御室空調換気系ダクトの腐食事象に伴う未然防止処置として、志賀原子力発電所第1号機及び第2号機中央制御室換気空調系ダクトへの点検を実施した結果、外気取入れラインのダクト外表面に腐食が発見され、当該腐食進展を防止するために2017年6月に継手部のシール材の塗布が行われている。一方で、上述の点検に加えて当該ダクト内面の全面に亘る点検調査、手入れ等の後、改めて保全の有効性評価を実施するとしていることを確認した。</p>
<p>マネジメントレビュー等の自己評価及び監査</p>	<p>(1)マネジメントレビューの実施状況</p> <p>マネジメントレビュー及び発電所長レビュー(以下「レビュー」という。)は、それぞれ「品質保証活動管理要則」等に基づき年2回実施され、これらのレビューのアウトプットを踏まえ、年度毎の品質目標が作成され、当該目標の達成状況及び自己評価を整理して、次年度のレビューのインプットとして報告されている。</p> <p>平成29年度から令和2年度までの発電所の品質目標の設定状況を確認したところ、毎年、ほぼ同様な定常業務が中心となっているため、組織としての問題点や課題が明確にされておらず、活動の内容も不明確となっている。そのため、活動目的に対する活動結果の実効性評価が明確でな</p>

	<p>かった。また、組織としての問題点や課題については、個々に分析、検討され、改善活動に取り組んでいるものの、その活動の目的や体制が明確でないために効果が出にくい状況も確認された。</p> <p>今後、事業者は、組織における問題点や課題等の分析・評価及び改善活動を品質マネジメントシステムに基づき体系的に行い、改善活動の実効性を向上させるとしている。</p> <p>(2)内部監査の実施状況</p> <p>原子力監査要則に基づき、年度監査計画を計画し、半期毎に社長に報告をしている。定期監査は「重点監査」「基本事項監査」及び「個別業務監査」にテーマを分けて実施している。監査は、書面監査だけでなく、被監査部門の実際の活動状況を観察する「モニタリング」手法を活用することで監査の質の向上を図る活動をしていた。</p> <p>また、被監査部門が長期停止による特別な保全計画に移行したため、監査部門は業務プロセスや設備の管理程度等への変更に着目した監査を実施し指導をしていた。しかし、施設管理活動全般の改善に結びつくような指導になっておらず、改善の機会を被監査部門に提供する取り組みが弱かったため、被監査部門の施設管理に対する改善が十分に行えず、例えば、換気空調系フィルタ損傷を未然に防止又は早期発見ができなかった。</p> <p>事業者は、改善の機会を有効に活かすことができるように、監査部門の気づき事項について、被監査部門との改善に向けた有効な議論が十分にできるように改善に取り組んでいくとしている。</p>
<p>安全文化の育成と維持に関する活動</p>	<p>(1)安全文化の育成と維持に関する活動に係る取組状況</p> <p>安全文化の育成と維持に関する活動については「原子力 法令遵守・安全文化醸成活動実施要則」等に基づき、毎年活動計画書を策定し、それに基づき活動を行い、その結果についてはレビューにインプットされていることを確認した。</p> <p>また、発電所職員等へのアンケート調査(職場元気度診断)による安全文化アンケート調査及び評価結果により、組織の弱み(リーダーシップ、コミュニケーション)の抽出が行われていた。</p> <p>しかしながら、それらが組織の全体像の弱みや強化すべき分野を把握できるところまで体系的に活用されておらず、活動計画においても弱みを改善する効果的な活動に繋がっていないことを事業者の資料及び関係者からの聴取により確認した。</p> <p>また、安全文化アンケート結果からも前年度と比較して、総じてすべての特性(安全文化の10特性)に低下傾向が見られることが確認できた。</p>

	<p>事業者は、今後、組織の弱みを改善する効果的な活動に繋がるように、活動の評価手法の改善に取り組むとしている。</p> <p>以上のことから、安全文化の育成と維持に関する活動に係る取組状況については、評価指標の測定値に低下が見られるものの改善を目指した取組が継続的に行われていると評価する。</p> <p>(2)安全文化についての弱点や強化すべき分野に係る評価</p> <p>特筆すべき問題となる弱みは認められなかった。</p> <p>しかし、事業者は、活動実績等による安全文化アンケート調査の評価結果を踏まえ、総合的な評価としているが、不適合事象や人的過誤の分析等を紐付けするなどの自己評価が十分に行われておらず、組織の安全文化の弱点の絞り込みに至っていないことが確認できた。</p> <p>2019年度の人的過誤に関する27件の不適合事象について「品質マネジメントシステム運用(PI&amp;R)」検査ガイドに基づき検査官が独自に分析したところ、「常に問いかける姿勢(QA)」と「安全に関する責務(PA)」の2分野について弱みが認められた。</p> <p>インタビューの結果からは、CAP 活動に対する意識も高く、コンディションレポートの作成も積極的に行っていることから「問題を提起できる環境」に問題は認められなかった。</p> <p>以上のことから、安全文化についての弱点や強化すべき分野に係る評価については、傾向を把握するために継続的な監視が必要と評価する。</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 6. 確認資料

### 6. 1 日常検査

#### (1)ガイド BM0060 保全の有効性評価

検査項目 保全の有効性評価

資料名

- ・1号機非常用ディーゼル発電設備 保全内容決定表
- ・潤滑油試験報告書 2014年5月29日
- ・保全13M 潤滑油補給／取替 取替実績:第3回(1997年)、第8回(2003年)
- ・潤滑油分析資料 2011年10月18日
- ・志賀原子力発電所第1・2号機 技術検討書 志賀原子力発電所1・2号機 原子炉長期停止中における非常用ディーゼル発電設備の点検計画について 2019年6月6日 19-機保-006
- ・志賀原子力発電所第1号機非常用ディーゼル発電設備潤滑油系配管計装線図

(2)ガイド BM0100 設計管理

検査項目 設計管理の適切性

資料名

- ・志賀原子力発電所 施設管理要領 2020年4月
- ・原一要-00108 設計管理要則 令 2.4.1 現在
- ・志賀原子力発電所 設計検討ワーキンググループ実施手引 2020年7月
- ・設計検討ワーキンググループ資料「志賀原子力発電所1・2号機 CSTトレンチ 出入口扉のハンドル改造について」
- ・コンディションレポート(CR)No. 20-0831

(3)ガイド BM0120 作業管理

検査項目 作業管理

資料名

- ・非常用DG(A)発電機軸受潤滑油系配管用プレートオリフィス取付方向修正工事 施工要領書
- ・非常用DG(A)発電機軸受潤滑油系配管用プレートオリフィス取付方向修正工事 作業予定表、指示書
- ・志賀原子力発電所第1号機非常用ディーゼル発電設備潤滑油系配管計装線 図 R43-1005 改訂5-1
- ・フランジ締め付け記録 2020年7月29日
- ・プレートオリフィス点検記録 2020年7月28日
- ・漏えい点検記録 2020年7月22日、7月30日、8月3日
- ・ディーゼル発電設備運転状態確認記録 2020年8月3日
- ・志賀原子力発電所2号機補機冷却水取水路内の排砂実施計画について 2020年7月15日 保修部 土木建築課
- ・2020年度補機冷却水取水路土砂除去及び排砂工程 2020年7月17日 保修部 土木建築課
- ・2号機補機冷却水取水路排砂作業スケジュール
- ・作業日報／予定表 2020年9月1日(火)【2号5020】
- ・志賀原子力発電所第2号機非常用ガス処理系配管計装線図 T22-2101-0001 改訂8-1

(4)ガイド BO0010 サーベイランス試験

検査項目 標準的な検査

資料名

- ・志賀原子力発電所2号機 定例試験操作要領 非常用ガス処理系手動起動試験 2020年9月
- ・志賀原子力発電所第2号機非常用ガス処理系配管計装線図 T22-2101-0001 改訂8-1
- ・中央制御室系統トレンド 定例試験[発電課]SGTS 2020年7月13日
- ・系統図画面 T22 SGTS 2020年7月13日
- ・系統ANN打ち出し T22 SGTS 2020年7月13日
- ・志賀原子力発電所第2号機非常用ガス処理系手動起動試験結果 2020年7月13日
- ・志賀発電所1号機定例試験操作要領 中央制御室換気空調系隔離運転及び外気取入運転試験 令2. 6. 30現在
- ・志賀原子力発電所1号機 中央制御室換気空調系隔離運転及び外気取入運転試験結果 2020年8月21日

(5)ガイド BO1020 設備の系統構成

検査項目 標準的系統構成

資料名

- ・志賀原子力発電所第2号機原子炉建屋機器配置図4階(EL32500)
- ・志賀原子力発電所第2号機非常用ガス処理系配管計装線図 T22-2101-0001 改訂8-1
- ・志賀原子力発電所第2号機非常用ガス処理系手動起動試験結果 2020年7月13日
- ・コンディションレポート(CR)No. 20-0344、20-1149
- ・リスク情報、CAPミーティング資料 2020年8月4日
- ・循環水モータ軸受冷却水入口空気抜配管腐食(電気保修課)
- ・TCW サージタンク水位低下について 2号 C 班 2020年8月2日
- ・TCW サージタンク水位のトレンドグラフ
- ・志賀原子力発電所第2号機循環水ポンプ系配管計装線図 N71-2101-P002-00001 改訂9-2
- ・モノタイトバルブ構造図(M-170(ラグタイプ)Φ50～Φ150)
- ・CWP冷却水戻り元弁[P22-F331]シートリーク対応 2020. 8. 02

(6)ガイド BO1040 動作可能性判断及び機能性評価

検査項目 動作可能性判断及び機能性評価

資料名

- ・コンディションレポート(CR)No. 20-0796、20-0797
- ・石川県、志賀町への通報(第1報)の内容(石川県 原子力発電所モニタリアル)

- タイム表示、2号排気筒モニタ A、B トレンドグラフ) 技術課
- ・プロセス放射線モニタ(B) (SCIN)の「INOP」「HV FAIL」表示が点灯について (6月16日リスク情報、CAPミーティング資料)
  - ・志賀原子力発電所2号機排気筒モニタA系の電源装置異常について 電気保修課 2020年6月24日
  - ・2号機排気筒モニタ電源系統図 電気保修課 2020年6月24日
  - ・志賀原子力発電所2号機排気筒モニタの一時的な指示変動について 2020年7月3日
  - ・北陸電力株式会社志賀原子力発電所1号機第13回定検工事2020年度停止中の機能維持点検(Ⅱ)(電源設備点検・タービン系電源設備点検)所内電気系パワーセンタ点検工事要領書 2020年5月13日 R23-35-200453
  - ・ACB検査記録 志賀原子力発電所 1号機P/C-1C ユニット7A、7B、8A2 2020年7月10日
  - ・志賀原子力発電所1号機 非常用ディーゼル発電設備(A)潤滑油系オリフィスの取付方向の相違に対する評価について
  - ・志賀原子力発電所第1号機非常用ディーゼル発電設備潤滑油系配管計装線図 R43-1005 改訂5-1
  - ・1号機ディーゼル発電設備発電機外形図 R43-C001-7121 改訂5
  - ・コンディションレポート(CR)No. 20-1135
  - ・CAP会議案件(8月3日リスク情報、CAPミーティング資料)
  - ・2号機ディーゼル発電設備点検基準表 R43 rev.12
  - ・2号機回転機器点検記録表(サーバランス)D/G(C)燃料移送ポンプ 2020. 6. 18
  - ・解析メニュー 志賀2号機R43-C006C 2\_D/G燃料移送ポンプC 2020年7月2日
  - ・志賀原子力発電所1、2号機 技術検討書 志賀原子力発電所 回転機器の振動診断に係る運用について 平成21年4月2日 09-P-001
  - ・オリフィス水平展開に係る調査状況について 2020年8月6日 保修部
  - ・志賀原子力発電所第2号機原子炉補機冷却海水系配管計装線図 P41-2101-0001-00003 改訂7-1
  - ・北陸電力株式会社 志賀原子力発電所第2号機 原子炉補機冷却海水系 放水ラインオリフィスを逆向きに取り付けた場合の影響評価 2020年8月4日 Rev.0
  - ・北陸電力株式会社 志賀原子力発電所第2号機 原子炉補機冷却海水系 R SW放水ラインオリフィス穴径変更の件 2004年8月28日
  - ・プレートオリフィス図面 7M2L378-745 REV1、7M2L378-747 REV1
  - ・志賀原子力発電所第2号機 海水熱交換器建屋 機器配置図 地下1階(EL. 2200) 改訂04

- ・コンディションレポート(CR)No. 20-1271
- ・志賀原子力発電所1号機定例試験操作要領 HPCSディーゼル発電機手動起動試験 令2. 6. 30現在
- ・志賀原子力発電所第1号機HPCSディーゼル発電機手動起動試験結果 2020年8月18日)
- ・志賀原子力発電所第1号機HPCSディーゼル発電機手動起動試験結果 2020年7月20日)
- ・1号機HPCSディーゼル発電機手動起動始動試験時の周波数低めについて 2020年8月20日発電課)
- ・1号 D/G(H)周波数低下事象について 2020年9月29日 発電部発電課 保守部機械保守課

(7)ガイド BE0020 火災防護

検査項目 四半期検査

資料名

- ・諸規制等連絡票 サービス建屋二酸化炭素消火設備の法令点検に伴う規制等について 2020年7月20日(月) 1-20-M-022
- ・消防用設備等の点検要領の一部改正について(消防予第138号、平成26年3月31日)
- ・志賀原子力発電所1号機保守管理委託実施要領書 消火設備点検 A81-35-101805 改訂番号14
- ・二酸化炭素消火設備点検(S/B 総合点検)作業手順チェックシート 2020年8月11日分
- ・二酸化炭素消火設備(S/B 放出)検査記録 2020年8月11日

(8)ガイド BE0040 緊急時対応組織の維持

検査項目 緊急時対応組織の維持

資料名

- ・志賀原子力発電所 運転管理業務要領 令和2. 5. 27現在
- ・志賀原子力発電所 全交流電源喪失時における非常送水手順書 2020年6月
- ・注水量と水源の評価(1、2号機分)
- ・化学消防隊員有資格者名簿
- ・事故・故障等対応訓練(上期)実施計画書(案) 2020年7月19日
- ・事故・故障等対応訓練(下期)兼異常発生時の初動対応訓練実施報告書 2019年12月
- ・事故・故障等対応訓練他に係るAFI管理票 2020年7月時点

- ・地震発生時の対応フロー 2020年5月1日
- ・事故故障等対応訓練(上期)実施報告書 2020年9月2日
- ・2020年8月6日事故故障等対応訓練AFIスクリーニング結果
- ・8月6日トラブル訓練の結果を踏まえた第2拠点運用の改善について 2020年9月1日
- ・参考資料 EP[緊急時対応]分野の訓練で得た意見に対するAFIスクリーニング方針(試行)2018年3月27日 Rev.2. 1技術部技術課
- ・志賀原子力発電所 事故・故障等対応要領 2020年6月
- ・志賀原子力発電所 連絡当番等運用細則 2020年6月

(9)ガイド BR0010 放射線被ばく管理

検査項目 放射線被ばくの管理

資料名

- ・管理区域内区域区分変更通知書 2W20006-01
- ・コンディションレポート(CR)No. 20-0959
- ・放射線作業計画書兼申請書(作業件名:22007507 2号原子炉低圧注水設備設置工事 その6)
- ・放射線管理日誌 2020年7月3日
- ・安全対策仕様書 CWS-G9-23
- ・非破壊検査放射線作業願 2020年6月18日
- ・ガンマ線検査作業要領 2020年7月13日
- ・CTC-15AW型及びCXR-15ES型用保管箱兼A型輸送箱構造図(容器収納時)
- ・ガンマ線照射装置の使用方法
- ・放射線作業の状況を示す図面 2020年7月13日
- ・志賀原子力発電所 第2号機 可搬型代替低圧注水系 原子炉低圧代替注水設備設置工事の内原子炉低圧注水する設備設置工事 要領書
- ・作業記録(通知)2020年06月15日～2020年06月21日、2020年06月22日～2020年06月28日、2020年06月29日～2020年07月05日
- ・ガンマ線装置使用チェックシート(日管理)2020年6月29日、6月30日、7月1日、7月2日、7月3日
- ・志賀原子力発電所 放射線作業管理要領 2020年6月
- ・志賀原子力発電所 放射線作業計画書兼申請書等取扱細則 2020年3月
- ・志賀原子力発電所 被ばく管理要領 2020年3月
- ・コンディションレポート(CR)、不適合報告書 No. 20-0831
- ・志賀原子力発電所 区域管理要領 2020年3月
- ・志賀原子力発電所 放射線作業管理要領 2020年3月

- ・志賀原子力発電所第1、2号機 技術検討書 添付資料-3「外郭貫通部に対する止水措置概要(志賀原子力発電所1号機 CSTトレンチ)」
- ・2号機CSTトレンチ、タンクサーバイ記録 2020年4月～6月
- ・2号CSTトレンチ出入口扉の要求性能 質問事項に対する回答
- ・4M5E分析表
- ・コンディションレポート(CR)No. 20-1245
- ・業務連絡票 2020年8月18日 発信番号20-40 放射線安全課
- ・放射性固体廃棄物管理票(固体廃棄物貯蔵庫保管用) 2019年2月7日
- ・固体廃棄物貯蔵庫ドラム缶の外観確認結果について 2020年8月25日 発電部 放射線安全課

#### (10)ガイド BR0070 放射性固体廃棄物等の管理

検査項目 放射性固体廃棄物等の管理

資料名

- ・志賀原子力発電所 放射性固体廃棄物管理要領 2020年3月
- ・志賀原子力発電所 固体廃棄物貯蔵庫及びタービン保管庫内放射性廃棄物保管状況確認手引 2018年6月
- ・固体廃棄物貯蔵庫及びタービン保管庫の保管状況記録 2020年7月8日 9時15分～11時00分
- ・志賀原子力発電所 低レベル放射性固体廃棄物関連業務委託(2020年度)委託仕様書 2020年1月 北陸電力株式会社 志賀原子力発電所 発電部 放射線安全課
- ・志賀原子力発電所 低レベル放射性固体廃棄物関連業務委託(2020年度)業務処理計画書 2020年6月 北電産業株式会社 志賀支社
- ・固体廃棄物貯蔵庫及びタービン保管庫ドラム缶等確認手順書 放管手順-作業-10 第11版 北電産業株式会社 志賀支社
- ・固体廃棄物貯蔵庫内保管状況(2棟)
- ・LLWメモ H29-LLW-10 平成29年10月30日
- ・固体廃棄物貯蔵庫 工業用内視鏡によるドラム缶等の外観確認の実施計画 2020年度
- ・固体廃棄物貯蔵庫 工業用内視鏡によるドラム缶等の外観確認記録 2020年8月実施分
- ・コンディションレポート(CR)No. 20-1245
- ・ファイバースコープによる廃棄物ドラム缶の外観確認 作業前ミーティング内容

## 6.2 チーム検査

### (1)ガイド BQ0010 品質マネジメントシステムの運用

## 検査項目 年次検査

### 資料名

#### 1)改善措置活動の実効性

- ・不適合管理・是正処置・未然防止処置要則 平30. 12. 21現在
- ・志賀原子力発電所 不適合管理・是正処置・未然防止処置実施要領 2020年4月
- ・志賀原子力発電所 ヒューマンエラー事象の原因分析及び対策策定実施細則 2020年3月
- ・不適合報告書(No. 19-1075 2号機逃がし安全弁(U)全開信号[B21-VLV-R041]の動作について)
- ・是正処置管理票(No. 19C-0050 2号機逃がし安全弁(U)全開信号[B21-VLV-R041]の動作について)

#### 2)他施設における運転経験及び知見の活用

- ・不適合管理・是正処置・未然防止処置要則 平30. 12. 21現在
- ・志賀原子力発電所 不適合管理・是正処置・未然防止処置実施要領 2020年4月
- ・志賀原子力発電所 トラブル情報検討要領 2019年4月

#### 3-1)マネジメントレビュー等の自己評価及び監査

- ・2019年度原子力品質保証推進委員会の評価と改善のための提案
- ・2019年度 志賀原子力発電所長によるレビューの結果
- ・2019年度 志賀原子力発電所 品質マネジメントシステム評価(アウトプット)
- ・2019年度 マネジメントレビューの結果について(指示)

#### 3-2)内部監査

- ・原子力監査要則 平成30. 3. 28現在
- ・原子力監査3ヶ年計画(2018~2020年度)
- ・2019年度 原子力監査計画
- ・2019年度上期 原子力監査報告書
- ・2019年度下期 原子力監査報告書

#### 4)安全文化の育成と維持に関する活動

- ・原子力 法令遵守・安全文化醸成活動実施要則(H31. 3. 25)
- ・原子力 法令遵守・安全文化醸成活動管理指針(H30. 6. 27)
- ・2019年度 志賀原子力発電所 法令遵守・安全文化醸成活動実績評価書
- ・2020年度 志賀原子力発電所 法令遵守・安全文化醸成活動計画書